



ヨシュア記 1章、22章
主からヨシュアへのことば
東の3部族の任務

主がヨシアハのことば
モーセが死んで後...

ヨシヤ23:24:

ヨシア祝福と云い
主の証言と民の証言

東の3部族へのことば
ルベン・ガド・アサ/2

32922:

3部族の(王族)と
「あかし」の祭壇.
ギルティ

主が50%以上あるとは'

2019.3.5

327
1

主のしるし、モーセが死んだ後、主はモーセの従者、ヤンの子ヨシファに言われた。

「私のしるしを民には死んだ、それゆへ、今あなたと、このすべての民とは共に立つて、このヨルダンを渡り、私がイスラエル人の新しい地に行きます。そこに約束したのが、足の裏の踏む所にある。私がそこでまた大川ユフラタからバベロンとの全地にレテノンに及び、また方大海に至るまで生かすことになる日の間、あなたが共にいるように、あなたと共にあるであらう。私は、モーセと共にいたように、あなたと共にあるであらう。私は彼らを見たと同様である、見ることもしない。」

6 彼も、またさしくめられ、あなたはこれに、私が彼らに与える、その先相たに備つた地を賜ふせよといふので強く、また雄々しくあつて、私のしるしをモーセがあなれに命じた律法をことごとく守つて行い、それを離れて右に左にも曲つておこなうことはない。それはすべてあなたの法律とあつた、勝利を得るものである。」

8 の律法の書であつた、口から聲こするところ、昼も夜もそのことを思い、そのうちに守られていくことを、ことごとく守つて行われなければならない。そうすると必ずば、あなたの道は栄え、あなたは罰を得るであらう。

9 私あなたに命じたではないか、強く、また雄々しくあれ、あなたがそこへ行くに、あなたは神、主がそばにおられるゆゑ、恐れてはならない、おのけにはないから。」

10 そこでヨシファは民のかきたちに命じて言つた、「宿めのなかを巡つて三日の間、あなたがたはヨシファのしるしを覚えて、あなたがたの神、あなたがたがたがたイスラエル人を導いてくれる者を認めるために、進み行かなければならぬからである。」

23:6

東の3部族へのことは

1

「十二部にはまたルペンビと、ガドびと、おとびマナサの
ハユニアに言った。
「このしもべモーセがあなたがたのために安んじ場所を開く。
この地、主はあなたに賜わであらう」と言つた言葉を開いた。
この言葉をあなたがたに賜わであらう。」と言つた言葉を
開いたとき、
14 あなたがたの子と家畜とは、モーセがあなたがたに与へ
なしたルガン、その側面の地にたふさなければならぬとい
えし。しかし、あなたがたのうちどの男も兵を武裝しな
ば、兄弟たちの争ひに立入り、これを助けなければなら
ない。」

15 そして主があなたがたに語り、あなたがたに言ふ所へ
兄弟たちが来たとき、彼らもあなたがたの神、
主があなたがたに賜ふべきものなるならば、あなたがたは
その側に立ちよ。モーセからあられた、ヨルダンのこ
ちは、主の日の出方である。あなたがたの所有の地に
留まつて、そればかりでなく、あなたの心あるであらう。
16 ヨルダンヨシュに答へた、「あなたがわれに命ぜられ
れば、そこへ参ります。あなたがたがたつかわされる所へ
は、どこへも行きます。

7 われはこれですべてのことをモーセに聞き従つたように、
あなたがたに聞かせます。ただ、どうぞ、あなたがたの神、
主がモーセと共にあられたように、あなたがた共にあら
れるであらう。
18 またあなたがたも、あなたがたの命にそむき、あなたがたの命に
けられる言葉に聞き従ふことがあれば、生かすことはあ
りません。ただ、強く、また雄々しく立つてみよ。ア
ミーン。」

3:27
22:5

安息と地

安息之地

ヨシュア記の1章です。モーセが死んだ後に、主からヨシュアに「強くあれ、雄々しくあれ」ということをもう一度 いう箇所です。もう一度というのは、モーセがヨシュアに言ってくれたことをもう一度主が教えてくれる、命じてくれるという箇所ですね。これから戦いに行くわけですから「強くあれ、雄々しくあれ、命令を守って勝利を得なさい」と。ヨルダン川を渡って、約束の地、約束したあなたがたに誓って与えると言った地に入ってく時に「強くあれ、雄々しくあって戦ってください」というヨシュアの言葉がもう一度1章のところに書かれてるわけです。

この1章の言葉の後(18節)に、ルベンとガドとマナセの部族半分に同じような事を言います。東の3部族への言葉と書いてありますが、もうすでにヨルダン川を渡る前の東の地ですね。ここも素晴らしい場所で、そこをこの3部族は欲しいと言って得ているところです。そこでヨシュアは「あなた方にその地は与えますけれど、まず一緒に他の部族と共に戦ってください。戦いが終わったら他の部族と同じように、その割り当ての地に戻っていいですよ。」ということが書かれています。そこにもまた「強くあれ、雄々しくあれ」と言ってこのヨシュア記の戦いが始まっていくわけです。

ヨシ22:

東の3部族への
任務が完了。

祝福

23:

誓い

(あかし)

24:

東の3部族への任務が完了。

30年

ヨシ22

2019.3.5

安息・地

相続地の分割が完了。

ヨシ22章21節
 このように、主が、イスラエルに与えたと、その先祖たち
 ちに誓われたことを、ことごとく与えられたので、彼ら
 はそれを獲て、そこに住んだ。
 4 主は彼らの祖たちに誓われたように、四方に安んずる
 わつたので、すべての敵のうち、ひとりも彼らに手向
 かう者になかった。主が敵をことごとく彼らの手に渡
 されたのである。
 5 主がイスラエルの地に約束されたすべての良いことは、
 一つとしてがわらず、みな実現した。

ヨシ22章22節
 1 時にヨシアは、ルベーンと、ガドびと、およびマナセ
 の部族の半ばを呼び集めて、
 2 言った、「あなたがたは主のしもべモーセが命じたこと
 を、ことごとく守り、また私の命じたすべての事に
 3 従った。今日まで長い年月の間、あなたがたの兄弟たちを助
 けた。あなたがたの神、主の命を、よく守つてきたし
 4 今はずに、あなたがたの神、主が、あなたがたの兄弟
 たち、先に約束されたとおり、安息を賜うるよう
 になりました。それで、あなたがたは身を返して、主の
 しもべモーセが、あなたがたに与えたヨルダンの地こ
 う側の所有の地に行き、自分たちの天幕に降りなさ
 5 い。だ主のしもべモーセが、あなたがたに命じた成め、
 6 律法とを慎んで行い、あなたがたの神、主を愛し、そ
 のすべての道に歩み、その命を守つて、主につき従
 い、心をくし、精神をつくして、主に仕えなさ
 7 い。」

ヨシ22章23節
 8 主は、あなたがたは主の言に従ひ、おびたしい数
 の家畜と、金、銀、青銅、鉄、および多くの衣服を持
 つて天幕に降り、敵から獲たふんどし物をら弟たちに
 9 分けたさい。」

ヨシ22章24節
 10 主は、主がモーセによつて命じられたよう
 に、すでに自分の所業となつて、ヨシアに命じた
 11 行ひを、カナンの地ヨシ22で、イスラエルの人々と
 別れて行つた。

ヨシ22章23-24節への命令。

ヨシ22章23節
 10 ルベーンの子孫、ガドの子孫、およびマナセ部族の半ば
 びと、カナンの地のヨルダンのほとりになった時、その所
 で、ヨルダンの岸に一つの祭壇を築いた。それは大
 きくて遠くから見えて祭壇であつた。
 11 リスエルの子孫は、ルベーンの子孫、ガドの子孫、お
 びマナセの部族の半ばが、カナンの地の国境、ヨル
 ダンのほとりのイスラエルの人々に属する方、一つの
 12 祭壇を築いた。というのを聞いて、
 13 イスラエルの人々が、それを聞くとひどく、イスラエ
 ルの人々の会衆はシロに集まつて、彼らの所に疾め
 14 上ろうとした。

ヨシ22章24節
 15 祭司ハス、および会衆のふさた、すなわち彼と
 共に行ったユラの地のからたは、ルベーン
 の子孫、ガドの子孫、およびマナセの子孫が語つた
 16 言葉を聞いて、それをよしとし、
 17 主の祭司、レザルの子孫、ルベーンの子孫、
 ガドの子孫、およびマナセの子孫に言つた、「今日、
 18 われらは、主がわれわれのうちにいまふことを知つ
 19 かつたのである。あなたがたは今、イスラエルの
 20 人々を、主の手から救ひ出したのである。」

ヨシ22章25節
 21 こうして祭司ハス、およびガドの子孫、つかさたら
 22 ところに行つて復命したので、
 23 は、ルベーンの子孫、およびガドの子孫に降り、イスラエルの人々の
 24 アデの地からカナンの地に降り、イスラエルの人々の
 25 人々の人々を神をほめたえ、ルベーンの子孫、およびガ
 26 ドの子孫の住んでいる国を離すために攻め上らうと
 27 は、もはや言わなかつた。
 28 主は、あなたがたの子孫は、その祭壇を「あかし」と
 29 名づけて言つた、「これは、われわれの間にあつて、
 30 主が神にいますというあかしをするものである。」

ルベーン・ガド、
マナセ部族、
ギルアド (ヨルダンの東側)
祭壇

22章の終わりのところで、ずっと相続地のために戦った後に、相続地の分割の割り当
 て地の話があって全部が終わり誓った地に入れました。敵はことごとく追い払われて、
 神様が約束したことは一つとしてたがわず、みな実現しましたという箇所があって、そ
 れで最初のこの3部族が呼び出されて、「よく戦いました。あなた方はその通りにやつ
 したので、どうぞ帰って自分の場所を相続してください。」という祝福の言葉が、ヨシ
 アからあの3部族に言われるわけです。言われた後に祭壇を築くんですね。祭壇を築く
 と他の部族たちは「あの3部族はもう神様を捨てたのか。」ということで、他の部族が
 戦つていこうとしたという出来事が22章には結構長く書かれています。ヨルダンの東側
 に祭壇を作りました。しかしその祭壇は逆らうためではなくて、主を忘れないようにと
 という記念なんですよということを言つて、他の部族たちも納得して主を褒めたたえる。
 祭壇を「証」という名前をつけて、その祭壇を記念にしましたという箇所があります
 (22:34)。ヨシ22章21章のところで、分割が完了した後の3部族に「任務が完了しまし
 たね。祝福しています。」22章の後半のところで、誓いますという形になっています。

これが(別紙)ヨシ22章のずっとアブラハムから始まった話がモーセ。モーセの終わり
 のところでヨシ22章。ヨシ22章の後継者の任命があつて終わりの話になっています。

ヨシ22章の出だし(1章)のところですね。出だしの半分はイスラエル全体に話していま
 す。1章の後半のところでは3部族に話しています。前半のところでは言われているこの命令
 ですね。特に23章の6節にありますけれど、23章の祝福と呪い。24章の主の証言と民の
 証言ということ言うと、祝福と誓いという事ですね。23章6節。これが1章からの引
 用のような形になりますね。1章の後半、この3部族に言っている祝福の言葉に対して、22
 章の祝福と証という形になっていますので、1章の前半の命令、祝福して送り出す言葉
 という事にもなりますね。その言葉の終わりは23章と24章。3部族に対する励ましの言

葉は、22章に祝福と証の祭壇の話があるということで、祝福と証言、祝福と証言ということが、イスラエル全体について、そして東の部族についてということ言われているものが、この書物の終わりところにも呼応しているということだと思います。

なぜ、ヨルダン川の東側にわざわざ3部族が残ったという事だったのかというと、良い地だったのかなということですけど、なぜそんな話になっているのか。何の2つに分けられているのか。他の箇所とどういう関係があるのか。よく分かりませんが、歴史的にこの部族が二つに分かれていくというものとか、何か関連しているんだろうと思いますけれども、このヨシュア記の中では、約束の地を得ると言った時に、大きく全体とこの東側というふうに分かれて、それぞれちゃんと成就していると。祝福と誓いの言葉で完結しているということが分かると思いますけども、このヨシュア1章の「強くあれ、雄々しくあれ」これが2回あるような形でこのヨシュア記が始まっていきます。